

小山町定例記者懇談会

4月

平成 29 年 4 月 25 日 (火)

小山町 企画総務部 町長戦略課



金太郎生誕の地 おやま

人の動き (平成 29 年 4 月 1 日現在)

人 口 18,933 人 (前月比△181 人)

世帯数 7,485 世帯 (前月比△103 世帯)

★会見事項

- 1 部長マニフェストの平成 28 年度評価と 29 年度マニフェストの公表
- 2 内陸フロンティアの「町内現地見学バスツアー」結果報告
- 3 第 53 回富士山金太郎春まつり
- 4 足柄千年古道ハイキング
- 5 第 20 回ツアー・オブ・ジャパン富士山ステージ
- 6 結婚新生活支援補助金の実施
- 7 レッツ 5 ファーム〈畑づくり〉の実施
- 8 環富士山火山防災連絡会 平成 29 年度総会の開催
- 9 なんでも相談・消費生活相談実績

【資料提供】

- ・小山町町制 105 周年記念事業「NHKのど自慢」の実施について

◇その他の添付資料

小山町内イベント等一覧 (平成 29 年 5 月分)

◇次回の定例記者懇談会は

5 月 25 日 (木) 午後 3 時 30 分～ 役場本庁 3 階 301 会議室で行う予定です。



小山町定例記者懇談会

平成 29 年 4 月 25 日

資料 1

平成 28 年度部長マニフェストの評価及び 平成 29 年度部長マニフェストの作成について

(小山町 町長戦略課)

(概要)

平成 28 年度当初に各部長が作成した部長マニフェストについて、目標達成状況等の評価を行うとともに、新たに平成 29 年度の部長マニフェストを作成しました。これらは、町のホームページ及び広報おやま 5 月号で公表します。

(内容)

1 平成 28 年度部長マニフェストの評価

(1) 目的

施策の取組結果や目標達成状況について評価を行い、施策の P D C A を図る。

(2) 評価方法

町長は、各部長がマニフェストに掲げた施策毎の目標達成状況を踏まえ、A（達成）、B（一部達成）、C（未達成）の 3 区分で評価を行うとともに、コメントを記載する。

(3) 内容

別添「平成 28 年度部長マニフェスト評価結果」のとおり

2 平成 29 年度の部長マニフェストの作成

(1) 目的

ア 各部の基本方針や重点的に取り組む施策及びその目標を明らかにし、町民に開かれた行政運営を目指す。

イ 組織で施策の目標を共有化することにより、目標の達成に向けて職員が一体となって施策の推進に取り組む。

(2) 作成者

企画総務部長、住民福祉部長、経済建設部長、
経済建設部長代理（㊟～）、教育次長、危機管理監

(3) 内容

別添「平成 29 年度部長マニフェスト」のとおり

【問い合わせ先】

町長戦略課

電話 0550-76-6133



平成 28 年度
小山町 部長マニフェスト
評 価 結 果

平成 29 年 4 月
小 山 町

目 次

◇ 部長マニフェスト評価の概要	1
◇ 部長マニフェスト	
● 企画総務部長	2
● 住民福祉部長	3
● 経済建設部長	4
● 教育部長	5
● 危機管理監	6

部長マニフェスト評価の概要

- 1 評価時期 平成 29 年 4 月
- 2 評価方法 各部長は、マニフェストに掲げた施策への取組結果及び目標達成状況を記載します。
なお、部長に異動があった場合は、前任者が記載し後任者へ引き継ぐこととします。
- 3 評価者 町長は、施策毎の目標達成状況を踏まえて最終評価を行うとともに、「町長から一言」欄にコメントを記載します。

【評価区分】 A（達成）、B（一部達成）、C（未達成）
- 4 評価結果 評価結果は、平成 29 年度の部長マニフェストに反映し、施策の P D C Aを図ります。
- 5 公表 評価結果は、町のホームページ及び広報おやまを通じて公表します。
・ホームページ：5 月初旬、広報おやま：5 月号

【部長マニフェストとは】

1 作成の目的

- （1）各部の基本方針や重点的に取り組む施策及びその目標を明らかにし、町民に開かれた行政運営を目指します。
- （2）組織で施策の目標を共有化することにより、目標の達成に向けて職員が一体となって施策の推進に取り組みます。
- （3）毎年、施策の目標の達成状況を評価し、翌年度のマニフェストに反映することにより、施策の P D C Aを図ります。

2 作成者

企画総務部長、住民福祉部長、経済建設部長、経済建設部長代理（㊟～）、教育部長、危機管理監

平成28年度 企画総務部長マニフェスト評価結果

部長 湯山 博一

◎重点施策

No	施 策	年度当初の目標	取組結果・目標達成状況／評価	
1	三来拠点事業の着実な推進	【小山PA周辺地区】 ・土地区画整理組合 平成29年3月設立 【湯船原地区】 ・アグリインダストリーエリア・林業エリア基本計画 平成29年3月策定 ・ロジスティックターミナル基本計画 平成29年3月策定 【足柄SA周辺地区】 ・足柄SICアクセス道路（町道2414号線）平成29年3月竣工	【小山PA周辺地区】 区画整理に限らない手法を模索しています。 【湯船原地区】 アグリエリアは年度内に事業化し、林業エリアは平成29年度に事業化します。 【足柄SA周辺地区】 平成29年度に繰越明許し、平成29年8月に竣工予定です。	評価 区分 A（達成）
2	ふるさと納税の促進	ふるさと納税のより一層の促進のため、PRや返礼品を工夫します。 ・ふるさと納税（個人版）額 10億円 ふるさと納税（企業版）の取り組みを進めます。 ・ふるさと納税（企業版）額 1億円	【個人版】 返礼品等を追加し、18億円を超える寄附をいただきました。 【企業版】 2社（5千万円及び百万円）から申請を得た外、複数社から内諾を得ています。	評価 区分 A（達成）
3	金太郎計画2020の着実な推進	「金太郎計画2020」に掲げる事業を実施します。 ・事業の実施数 各地区2事業 町民との協働を進めるため、「まちづくり活動発表会」の充実を図ります。 ・活動発表会の参加者数 500人	【事業の実施数】 各地区、2～8事業を実施しました。 【活動発表会の参加者数】 約100人にとどまりました。 開催日や広報に工夫が必要でした。	評価 区分 B（一部達成）
4	小山町特定事業主行動計画の推進	子育てしやすい勤務環境づくりを進めるため、平成28年度から導入したフレックスタイムの普及を図ります。 ・フレックスタイムの活用 3人 女性職員の活躍推進のため、女性職員のキャリア形成と能力開発を図ります。 ・キャリア形成研修の実施 2回	【フレックスタイムの活用】 1人にとどまりました。 【キャリア形成研修の実施】 1回開催しました。	評価 区分 C（未達成）
5	自己実現型定住促進事業の推進（地方創生加速化交付金事業）	若者世代の本町への移住を促進するため、都内の大学生等を対象にUIJターンイベントを開催します。 ・学生向けイベント参加者数 50人 地域の産業や観光資源を活用し、しごととの創業を支援します。 ・新規創業件数 3件	【学生向けイベント参加者数】 開催回数5回 参加者数110人 【新規創業件数】 3件	評価 区分 A（達成）

◎町長から一言

- ・ふるさと納税は返礼品を工夫したことにより多額の寄附をいただきました。今後は企業版ふるさと納税にも力を入れてください。
- ・特定事業主行動計画※の推進など、職場環境の改善は努力が足りません。今後も改善努力を進めてください。

※仕事と子育ての両立を図ることができるよう職場を挙げて支援する環境を整備するための計画

平成28年度 住民福祉部長マニフェスト評価結果

部長 秋月千宏

◎重点施策

No	施策	年度当初の目標	取組結果・目標達成状況／評価	
1	国民健康保険特定健診の受診率向上	6月の受診キャンペーンの他、未受診者への個別通知、電話による受診勧奨等を行います。 ・特定健診の受診率 60%	特定健診の受診率 47.2%（受診：1,618人／対象：3,425人）…各種団体の会合でのPRや未受診者に対する受診勧奨に努めましたが、目標を達成できませんでした。	評価区分 C（未達成）
2	介護予防施策の充実	高齢者の生きがいと健康づくりを推進する「ふれあい茶論」を開催する他、「認知症サポーター養成講座」を開催します。 ・ふれあい茶論の参加者数 3,000人 ・認知症サポーター養成講座受講者 200人	・ふれあい茶論参加者数 2,625人（社協に委託し、年間102回実施、65歳以上） ・認知症サポーター養成講座受講者 247人（認知症地域支援推進員が直接各種団体に働き掛け、講座受講者を募集）	評価区分 B（一部達成）
3	お達者度向上プロジェクト事業の推進	高齢者の健康づくりと生活習慣病の予防啓発を推進します。 ・おたっしや測定会参加者 380人 ・高齢者の自主運動教室実施 15教室 ・出張けんこう講座の開催回数、参加者 35回、1,300人	・おたっしや測定会参加者 376人 ・高齢者の自主運動教室実施 16教室 ・出張けんこう講座の開催回数、参加者 41回、1,412人	評価区分 A（達成）
4	健康マイレージ事業の推進	健康マイレージ事業のさらなる普及啓発により参加者を増やし、ハッピーチケットの交換賞品増量と抽選会賞品への協賛事業所の増加を図ります。 ・健康マイレージポイント達成者 270人 ・ハッピーチケット交換賞品 8品 ・賞品協賛事業所 12社	・健康マイレージポイント達成者 実 377人 ・ハッピーチケット交換賞品 9品 ・賞品協賛事業所 14社	評価区分 A（達成）
5	健康福祉会館の利用推進	健康福祉会館の利用促進計画に基づき、会館の利用促進を図り、運動習慣の向上を推進します。 ・リラクゼーションスタジオの年間利用 2,800人（内老人クラブを対象とした運動教室：21クラブ 210人） ・健康福祉会館年間利用者 45,000人	・リラクゼーションスタジオの年間利用者 4,458人（内老人クラブを対象とした運動教室：21クラブ 293人） ・健康福祉会館年間利用者 43,104人	評価区分 B（一部達成）

◎町長から一言

- ・医師会と連携して、特定健診を受けやすい環境づくりを進めてください。
- ・ふれあい茶論の開催回数の多い地区と少ない地区があります。地区毎に状況は違いますが、できるだけ開催回数を増やし、参加者が増えるようにしてください。

平成28年度 経済建設部長マニフェスト評価結果

部長 池谷精市

◎重点施策

No	施 策	年度当初の目標	取組結果・目標達成状況／評価	
1	市街化区域内の宅地供給の推進	市街化区域内の居住環境整備として、宅地化されていない区域について宅地開発の可能性を検討します。 ・市街化区域内の宅地開発可能性調査の実施と地権者の意向調査の実施	道路整備計画のある2地区を優先候補地として選定し、土地利用状況の把握、事業手法及び施工区域の調査、検討を行いました。地権者意向調査の実施にまでは至りませんでした。	評価区分 C（未達成）
2	富士山観光の振興	小山町観光推進会議で事業進捗の検証を行い、富士山観光を推進します。 ・富士山須走口五合目整備基本計画の策定と情報提供施設整備の推進 須走口登山道の魅力を高めるイベントを実施します。 ・山小屋で行う星空観賞と日の出観賞をセットにしたイベントの開催	情報提供施設は、環境省から施設の在り方について理解が得られました。今後は、県及び文化庁との協議を進め、基本計画の策定に着手します。 富士山観光のイベントとして、6合目山小屋での星空観賞会を計画し多くの応募がありましたが、雨天のため中止としました。	評価区分 B（一部達成）
3	活力ある農業の振興	農業の多面的機能の維持・発揮の地域活動に対して支援する「日本型直接支払制度」への取組みを推進し、地域農業の維持、活性化に努めます。 ・日本型直接支払制度に取り組む地域13地域	農業施設の維持保全を目的とする多面的機能支払に2地域が新規に取り組み、日本型直接支払制度に取り組む地域が13地域となりました。	評価区分 A（達成）
4	森林認証制度の導入	森林の環境保全へ配慮した持続可能な森林経営に取り組むとともに、東京五輪を契機とした認証材の需要に対応します。 ・民有林、町有林における森林認証（SGEC）の取得	町、静岡県等の8団体で「富士箱根森林認証協議会」を設立し、森林認証手続きを行いました。現在審査中ですが、6月に森林認証を取得する予定です。	評価区分 B（一部達成）
5	交通拠点施設の整備	老朽化が進んでいる足柄駅舎と支所等の複合施設の整備計画を推進します。 ・足柄駅交流センター（仮称）基本計画の策定	足柄地区に検討委員会が組織され、住民アンケートを実施しましたが、基本計画の策定に至りませんでした。	評価区分 C（未達成）

◎町長から一言

- ・宅地開発の優先候補地について、地権者の意向調査の実施に至らなかったのは残念です。さらに指導力を発揮して、事業の推進を図ってください。
- ・今後も交流人口の拡大のため、魅力的な観光イベントの開催を期待します。

平成28年度 教育部長マニフェスト評価結果

部長 田代順泰

◎重点施策

No	施策	年度当初の目標	取組結果・目標達成状況／評価	
1	幼児教育の充実	子育て支援を町内統一的に実施するため、中核となる施設の設置構想案の検討を行います。 ・（仮称）中央子育て支援センター構想案の検討 施設分離型のこども園の設置について検討します。 ・施設分離型こども園設置計画の策定	評価 区分	B（一部達成）
2	キャリア教育及びボランティアの充実	小山高校生の町役場でのインターシップ受け入れの拡充に努めます。 ・小山高校1年生の受け入れ131人 ボランティア登録数の向上に努めます。 ・中学生ボランティア登録率60%	評価 区分	B（一部達成）
3	中学生の英語力向上	平成27年度に創設した英検受験料補助制度の活用を促し、中学生の英検受験率の向上に努めます。 ・中学生の英検受験率80%	評価 区分	C（未達成）
4	次期男女共同参画社会づくり行動計画の策定	平成29年度が始期となる第4次男女共同参画社会づくり行動計画を策定します。	評価 区分	A（達成）
5	読書環境の整備	町立図書館と学校図書館の連携システム構想（ハード及びソフト）を策定し、その実現についての検討を行います。	評価 区分	B（一部達成）

◎町長から一言

- ・ボランティア活動は、地域の方々と触れ合うことができる良い機会となるので、より多くの中学生に登録・活動してもらえよう努めてください。
- ・英検受講料補助制度は、国際的な人に育ってもらうための一つの施策として行っているもので、積極的に活用してもらえよう進めてください。

平成 28 年度 危機管理監マニフェスト評価結果

危機管理監 岩田芳和

◎重点施策

No	施 策	年度当初の目標	取組結果・目標達成状況／評価	
1	防災啓発の推進	町民の防災意識の高揚を図るため、自主防災組織や学校と連携し、防災講演会等を実施します。 ・防災講演会参加者 350 人 ・小学校、中学校に対する防災講話 3 校	小学校、中学校及び高等学校に対する防災講話を 5 校(小学校 3 校、中学校 1 校、高等学校 1 校)で実施しましたが、防災講演会参加者は 285 人と、目標に届きませんでした。	評価 区分 B（一部達成）
2	地域防災計画等の修正	地域防災計画等について、常に最新の防災状況を反映し、その充実を図るため、見直しを行います。 ・地域防災計画、水防計画、国民保護計画及び業務継続計画の見直し	地域防災計画、水防計画、国民保護計画は見直しを行いました。業務継続計画は情報システムに係る事項が未定のため、見直しには至りませんでした。	評価 区分 B（一部達成）
3	防災体制の強化	自主防災組織（40 組織）に対し、地区防災計画の策定を促すため、説明及び作成に関する啓発を行います。 ・自主防災組織による地区防災計画の策定 10 地区 避難所、物資の提供等の確保のため、引き続き防災協定締結を推進します。 ・防災協定締結（累計件数）39 件	地区防災計画は、8 地区で策定しましたが目標に届きませんでした。 防災協定締結の累計件数は、41 件となり目標を上回りました。	評価 区分 B（一部達成）
4	危機管理体制の充実	万が一の災害等の発生に迅速かつ的確に対応できるよう、災害対策本部組織編成を見直し、災害発生時の危機レベルに応じた体制の整備を図ります。 ・災害対策本部組織編成の見直し	配備基準を精査した上で、警戒レベルに応じた組織編成の見直しを実施しました。	評価 区分 A（達成）
5	自主防災組織と連携した防災訓練の実施	自然災害による被害を最小限とするため、自主防災組織と連携して防災訓練を実施します。 ・地域防災訓練（富士山噴火避難訓練含む）参加者 7,100 人	地域防災訓練は、町内 40 ある自主防災組織を対象に実施しました。 参加者は、7,232 人となり、目標を上回りました。	評価 区分 A（達成）

◎町長から一言

- ・小学校、中学校への防災講話や HUG※などは、防災意識の高揚に繋がります。今後も積極的に取り組んでください。
- ・地域の防災体制の充実を図るためには、自主防災組織の防災力を強化する必要があるため、今後も地区防災計画策定の促進を図ってください。

※静岡県が開発した避難所運営ゲーム



平成 29年度 小山町 部長マニフェスト

平成 29 年 4 月
小 山 町

目 次

◇ 部長マニフェストの概要	1
◇ 部長マニフェスト	
● 企画総務部長	2
● 住民福祉部長	3
● 経済建設部長	4
● 経済建設部長代理	5
● 教育次長	6
● 危機管理監	7

部長マニフェストの概要

1 作成の目的

- (1) 各部の基本方針や重点的に取り組む施策及びその目標を明らかにし、町民に開かれた行政運営を目指します。
- (2) 組織で施策の目標を共有化することにより、目標の達成に向けて職員が一体となって施策の推進に取り組みます。
- (3) 毎年、施策の目標の達成状況を評価し、翌年度のマニフェストに反映することにより、施策のPDCAを図ります。

2 作成者

企画総務部長、住民福祉部長、経済建設部長、経済建設部長代理、教育次長、危機管理監

3 記載項目

項 目	内 容
部の紹介	部の所属課及び職員数を記載しています。
部の基本方針	部が抱える重要課題等について、その解決に向けた基本的な考え方を記載しています。
重点施策	当該年度に重点的に取り組む施策について、具体的取組及び目標を記載しています。

4 評価（翌年度）

翌年度当初にマニフェストへの取組及び目標達成状況について評価を行います。

5 公表

- (1) マニフェストは町のホームページ及び広報おやまを通じて公表します。
 - ・ホームページ：5月初旬、広報おやま：5月号
- (2) 翌年度当初に行う評価についても、評価結果として公表します。

平成29年度 企画総務部長マニフェスト

◎部の紹介（平成29年4月1日現在）

【所属課】 町長戦略課、総務課、税務課
 【職員数】 正職員35人 臨時職員等4人



部長 湯山博一

◎基本方針

小山町を元気にする「金太郎大作戦」第二章及び第4次小山町総合計画後期基本計画の各施策を速やかに推進するために、多岐にわたる事業の進行等について調整を図り、より効率的な資源の活用に努めるとともに、財政状況、職場環境等の向上に努めます。

◎重点施策

No	施策	具体的取組	目標
1	税制度の見直し	各地区をはじめとする説明会を丁寧に行い、町民の方の理解を得て都市計画税の導入を目指します。	平成30年度に、都市計画税導入が可能となるよう、町民、議会等の同意を得ます。
2	ふるさと納税の促進	・ふるさと納税を取り巻く状況は変化していますが、その中でPRや返礼品を工夫し、ふるさと寄附を確保します。 ・ふるさと納税（企業版）の取り組みを進めます。	・ふるさと納税（個人版）額 平成29年度目標15億円 （平成28年度実績18億円） ・ふるさと納税（企業版） 平成29年度目標5社 2億円 （平成28年度実績2社 5.1千万円）
3	金太郎計画2020の着実な推進	・町内5地区で策定した「金太郎計画2020」に掲げる事業を実施します。 ・町民との協働を進めるため、「まちづくり活動発表会」の充実を図ります。	・金太郎計画に基づく事業の実施数 平成29年度目標 各地区3事業以上 （平成28年度実績 各地区2～8事業） ・まちづくり活動発表会の参加者数 平成29年度目標200人 （平成28年度実績150人）
4	健全な財政運営の確立	未来拠点事業や文化財修景復元事業など大規模事業が多い中、財政調整基金の確保など健全で弾力的な財政運営を確保します。	・財政調整基金年度末現在高 6億円以上 ・総合計画推進基金年度末現在高 4億円以上
5	働き方改革	慢性的な時間外勤務や休日出勤などについて現状と課題を調査・分析した上で、健全なワークライフバランスの実現を図ります。	・ノー残業デイの実施 各所属一月あたり3日以上 ・年次有給休暇取得日数 平均9日以上

平成 29 年度 住民福祉部長マニフェスト

◎部の紹介（平成 29 年 4 月 1 日現在）

【所属課】 住民福祉課、健康増進課、くらし安全課

【職員数】 正職員 33 人 臨時職員等 14 人

◎基本方針

町民に安全安心な生活を提供するため、安全安心の基本となる心身の健康を維持するための各種施策を実施すると共に各保険制度の健全運営を維持します。また、交通事故や犯罪の無い町を目指し、警察や関係団体と協力して交通安全活動や防犯活動を行います。



部長 小野一彦

◎重点施策

No	施 策	具体的取組	目 標
1	国民健康保険の 特定健診の受診 率向上	疾病の早期発見と早期治療により重症化を防ぎ、医療費を適正化するため、特定健診受診キャンペーン（啓発、通知、電話）を実施します。	・ 特定健診の受診率 平成 29 年度目標 60% （平成 28 年度実績（速報値 47.2%））
2	介護予防施策の 充実	・ 高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、ふれあい茶論を開催します。 ・ 地域において認知症の方が穏やかに生活するための見守りのため、認知症サポーター養成講座を開催します。	・ ふれあい茶論の参加者数 平成 29 年度目標 3,000 人 （平成 28 年度実績 2,625 人） ・ 認知症サポーター養成講座受講者 平成 29 年度目標 200 人 （平成 28 年度実績 247 人）
3	お達者度向上プ ロジェクト事業 の推進	高齢者の健康づくりと生活習慣病の予防のため、高齢者の自主運動教室、出張けんこう講座を開催します。	・ 高齢者の自主運動教室実施 平成 29 年度目標 17 教室 （平成 28 年度実績 16 教室） ・ 出張けんこう講座の参加者 平成 29 年度目標 1,400 人 （平成 28 年度実績 1,412 人）
4	健康マイレージ 事業の拡大	お達者度を向上させるため、健康マイレージ事業を周知し、ふじのくに健康いきいきカード協力店及び商品協賛事業所を増やします。	・ 健康マイレージポイント達成者 平成 29 年度目標 400 人 （平成 28 年度実績 377 人） ・ ふじのくに健康いきいきカード協力店 平成 29 年度目標 7 店 （平成 28 年度実績 5 店） ・ 賞品協賛事業所 平成 29 年度目標 15 社 （平成 28 年度実績 14 社）
5	小山町民の交通 死亡事故ゼロ	・ 高齢運転者向け安全運転講習を実施します。 ・ ふれあい茶論等の集まりに出向き、交通安全講話を行います。	・ 小山町内の人身交通事故発生件数 平成 29 年度目標 90 件以下 （平成 28 年度発生件数 102 件） ・ 小山町内の町民の交通事故死亡者数 平成 29 年度目標 0 人 （平成 28 年度町内事故死者数 3 人）

平成 29 年度 経済建設部長マニフェスト

◎部の紹介（平成 29 年 4 月 1 日現在）

【所属課】 建設課、農林課、商工観光課、都市整備課、未来拠点課、おやま
で暮らそう課、上下水道課

【職員数】 正職員 61 人 臨時職員等 7 人



部長 池谷精市

◎基本方針

機構改革により、地方創生実現の原動力として新たな経済建設部となりました。「小山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる「産業拠点の整備を中心とした多彩な雇用機会の創出」「居住環境の整備による定住・移住の促進」を官民一体となった取組みにより推進します。

◎重点施策

No	施 策	具体的取組	目 標
1	小山町観光振興 計画アクション プランの推進	富士山や町内の観光資源を活用した観光交流客数増加の取組みとともに、観光インフラの整備として、情報、交通基盤の整備、広域連携、観光客の受け入れ態勢の充実を関係機関と連携して進めます。	・アクションプランに掲げる 25 項目の年度目標値の達成 ・日本版DMO※の設立に向けた準備室の開設 ・観光資源を活用した観光イベントの開催（2 本以上）
2	木造住宅耐震化 の推進	予想される大規模地震に備えるため、旧耐震基準により建築された木造住宅の耐震診断、耐震補強計画、耐震工事を推進します。	補助制度による申込み件数 ・耐震診断 120 件 ・耐震補強計画 66 件 ・耐震補強工事 60 件
3	道路インフラ整備 の推進	新東名高速道路建設及び足柄スマートインタチェンジ設置に伴う幹線道路整備と都市計画道路用沢大胡田線の事業進捗を図ります。	・都市計画道路大胡田用沢線 町道一色中日向線から国道 246 号区間の用地買収及び物件補償契約の完了（15 件） ・町道 3628 号線（アクセス道）用地買収契約の完了（15,007 m²）
4	農地集約化の推進	持続可能な力強い農業を実現するため、未来の設計図となる「人・農地プラン」の作成及び農地中間管理機構を活用した農地集積・集約化を推進します。	担い手が活躍する農業構造の推進 ・「人・農地プラン」新規作成 1 地区 ・農地中間管理機構活用面積 2 ha
5	交通拠点施設の 整備	昨年度、事業進捗が図れなかった足柄地区拠点整備事業について、住民の意見を反映した足柄駅舎と支所等の複合施設の整備計画を推進します。	・足柄駅交流センター（仮称）基本計画の策定 ・住民説明会の開催

※「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりを担う法人

平成29年度 経済建設部長代理マニフェスト

◎部の紹介（平成29年4月1日現在）

【所属課】 建設課、農林課、商工観光課、都市整備課、未来拠点課、おやまで暮らそう課、上下水道課
 【職員数】 正職員61人 臨時職員等7人



部長代理遠藤正樹

◎基本方針

「小山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる「産業拠点の整備を中心とした多彩な雇用機会の創出」「居住環境の整備による定住・移住の促進」を官民一体となった取組みにより推進するため、三来拠点事業や子育て若者世代を中心とした移住・定住事業を着実に進めます。

◎重点施策

No	施策	具体的取組	目標
1	三来拠点事業（小山PA周辺地区）の着実な推進	新東名高速道路の「小山PA周辺地区」に地域防災力を高める観光関連施設及びモータースポーツ関連産業の集積を進めるため、町が事業主体となって、開発を推進します。	進出企業（造成事業協力者）との基本協定締結
2	三来拠点事業（湯船原地区）の着実な推進	三来拠点事業の先進地区である、「湯船原地区」に、「地域資源循環型林業」を中心に、複合的な開発を推進します。	・林業エリア 木質バイオマス発電所整備完了 ・アグリインダストリーエリア 実施設計・換地計画策定 ・上野地区工業団地（ロジスティックターミナル） 進出企業（造成事業協力者）との基本協定締結
3	三来拠点事業（足柄SA周辺地区）の着実な推進	現東名高速道路の「足柄SA周辺地区」への進出企業に協力し、観光複合施設建設を推進します。	「足柄SA周辺地区」（桑木地区）用地買収受託事務完了
4	自己実現型定住促進事業の推進（地方創生推進交付金事業）	子育て世代、若者世代の定住・移住を促進するため、小山町及び近隣市町のママ達や、都内の大学生・若手社会人等をターゲットとしたイベント等の企画・運営を推進します。	・ママ向けイベント参加者数 50人 ・若者向けイベント参加者数 50人 ・新規創業件数 3件
5	婚活支援事業の活性化	独身の男女に出逢いの場として、イベントの企画・仲介支援を行い、将来的な結婚、町内への定住、出産とつながる婚活支援事業の活性化を図ります。	・婚活イベント企画・運営 5回 ・カップル成立数 20組

平成 29 年度 教育次長マニフェスト

◎部の紹介（平成 29 年 4 月 1 日現在）

【所属課】 こども育成課（小学校、中学校、保育園、こども園、幼稚園を含む）、生涯学習課
 【職員数】 正職員 76 人 臨時職員等 147 人 県費負担職員（本務者）122 人



次長 長田忠典

◎基本方針

【気高い富士 金太郎のように思いやる心を持つたくましい人づくり】
 豊かな人間性を持ち「困難・問題をきちんと受け止め、泰然と対処できる人」
 づくりを目指します。

◎重点施策

No	施 策	具体的取組	目 標
1	子育て支援の充実	・平成 29 年度中の（仮称）中央子育て支援センター開設に向け、運営方法等を決めていきます。 ・放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の充実に努めます。	・（仮称）中央子育て支援センターの運営方法等の検討及び決定 ・北郷小学校放課後児童クラブの施設整備 ・明倫小学校放課後子ども教室の開設準備
2	教員が子どもと向き合える時間の確保	授業及び校務事務等を支援する講師を小中学校に配置するとともに、校務支援システムを導入し、教員の事務負担の軽減を図ります。	・左記の取組によって、教員が子ども達と向き合える時間等が増えたのか検証（教員アンケートの実施）
3	キャリア教育及びボランティアの充実	・小山高校生の町役場でのインターシップ受け入れを実施し、行政に興味を持ってもらいます。 ・中学生ボランティア登録数の向上に努め、地域での活動の場を増やします。	・小山高校 1 年生全員の受け入れ ・中学生ボランティア登録率及び活動事業数の増加 登録率 平成 29 年度目標 60% （平成 28 年度実績 54.4%） 活動事業数 平成 29 年度目標 30 件 （平成 28 年度実績 29 件）
4	文化財等の P R による地域への愛着向上	町民の方に、身近な文化財等を知ってもらうために、文化財解説冊子作成委員会を設置し、文化財冊子を作成します。	・親しみやすい文化財解説冊子の作成及び配布
5	スポーツ・リクリエーションの推進	パークゴルフ場施設を利用しやすく整備するとともに、町内外に周知を行い、利用者数の増加を図ります。	・管理棟の整備及び利用者数の増加 平成 29 年度目標 8,500 人 （平成 28 年度実績 8,065 人）

平成29年度 危機管理監マニフェスト

◎組織の紹介（平成29年4月1日現在）

【所属課】 防災課

【職員数】 正職員 3人 臨時職員等 1人

◎基本方針

予期せぬ災害に備え、「自助・共助・公助」の視点から災害に強いまちづくりを積極的に推進し、町民が安心できる防災の仕組みづくりを目指します。



危機管理監
岩田 芳和

◎重点施策

No	施策	具体的取組	目 標
1	防災意識の向上	町民一人ひとりが「防災」の意識を持ち、意識の高揚を図るため、防災士連絡会や学校との協働による講演会等を開催します。	・ 防災講演会参加者 平成29年度目標 300人 (平成28年度実績 285人) ・ 小学校、中学校、高等学校での防災講話 平成29年度目標 5校 (平成28年度実績 5校)
2	富士山噴火避難計画等の見直し	「防災日本一のまちづくり」を進める観点から、実効性のある計画に見直し改善していきます。	・ 富士山噴火避難計画、地域防災計画、業務継続計画及び水防計画の改訂
3	防災体制の充実	物資、避難場所、要援護者支援など、防災対策の推進を図るため、事業所等との防災協定締結を実施します。	・ 防災協定締結（累計件数） 平成29年度目標 45件 (平成28年度実績 41件)
4	自主防災組織の充実	自主防災組織（40組織）は「自助・共助」を担う重要な組織であるため、自主防災組織と連携して災害時を想定した訓練などを実施します。	・ 災害時を想定した訓練 平成29年度目標 20組織 (平成28年度実績 16組織) ・ 地域防災訓練参加者 平成29年度目標 7,300人 (平成28年度実績 7,232人)
5	消防団の体制強化	消防署と連携し事業を推進していくとともに、消防団員の確保に努め、活動時における安全を確保する装備品や資機材の整備を進めます。	・ 消防団員の確保（消防団員数の充足率） 平成29年度目標 95% (平成28年度実績 91%)



内陸フロンティアの「町内現地見学バスツアー」結果報告

(小山町 未来拠点課)

1 概要

町民や近隣地域の方々に、町の「内陸のフロンティア」を拓く取組を知っていただく町内現地見学バスツアー「ファンタスティック・バス・ツアー・おやま」を初開催したところ、参加者から高い評価をいただきました。

2 バスツアー開催概要

(1) 日 時 平成 29 年 3 月 25 日 (土) 8:45 ~ 16:00

(2) 内 容 町内の内陸フロンティア推進区域を巡るバスツアー

(3) 参加者 78 人 (うち 21 人 (27%) が神奈川県民)

※キャンセル待ち 36 人 (次回ツアー時に優先受付)

(4) 参加者アンケート結果

①バスツアーの満足度 (5 段階評価)

・ 評 価 「5」…57 人 (74%)、「4」…20 人 (26%)、「3～1」…0 人

※平 均 4.74

②評価の理由、参加した感想など (多かったもの)

- ・ 町の将来に向けた取組を十分に理解できた。
- ・ 住んでいても気付かない部分を体感できて有意義だった。
- ・ 普段見られない場所を見学できて参考になった。
- ・ 訪問した企業の説明が大変わかりやすく理解できた。
- ・ 町長や町職員の熱意や本気度が伝わった。
- ・ 若い方や子ども達、地域の方々など多くの人に見てもらいたい。
- ・ 町への興味が湧いてきた。町の発展が楽しみになった。
- ・ 町の明るい未来を感じた。

3 平成 29 年度の方針

- ・ 町民や近隣地域住民を対象とするツアーのほか、中学・高校生や区長向けの企画も検討
- ・ 内陸フロンティア推進区域を中心に町の主要プロジェクトを見学コースに選定

【問い合わせ先】

未来拠点課 未来拠点班

電話 0550-76-6129



小山町定例記者懇談会

平成 29 年 4 月 25 日

資料 3

「第 53 回 富士山金太郎春まつり」について

(小山町 商工観光課)

日時：平成 29 年 5 月 3 日（水・祝）8:00～16:00

会場：小山町中島金時公園（雨天の場合：綱引き・相撲は小山町総合体育館）

主催：富士山金太郎まつり実行委員会

内容：わんぱく相撲御殿場・小山場所、子ども相撲大会、子ども綱引き大会
新入学児・妊産婦健康祈願、大砂嵐関イベント、水上バルーン

概要：

今年で第 53 回を迎える「富士山金太郎春まつり」を中島の金時公園で開催します。

このまつりは、子どもたちの健やかな成長を祈るとともに、町民各位のコミュニケーションの場として地域の活性化を図るものです。また、県内外に“金太郎生誕の地”である小山町を広く PR する観光イベントでもあります。

春まつりでは、力自慢の金太郎にちなんだ、子ども達による相撲や綱引きのほか、公園内の「金時神社」での新入学児健康祈願や妊産婦の健康祈願も開催します。表彰式終了後には福餅まきも行います。

また、今年も、昨年と同様に小山町の観光親善大使である大相撲大嶽部屋の大砂嵐金崇郎関が来場し、乳幼児の「泣き相撲」や子ども達とのぶつかり稽古などのふれあいイベントを実施し、まつりを盛り上げます。

ゴールデンウィークの一日、子どもたちの“元気”を育むおまつりに多くの皆様のご来場をお待ちしています。

（参考）

●子ども相撲大会：10 チーム

●子どもの綱引き大会：高学年女子：8 チーム 低学年男女：13 チーム

問合せ先

商工観光課 商工観光班

担当 高橋

電話 0550-76-6114（直通）



富士山頂と金太郎のまち おやま

プログラム

★ 金時神社祭典… 8:00～ 8:30

※金時神社で神事

☔ 8:00～ 8:30 金時神社

★ 開 会 式… 8:30～ 9:00

☔ 9:00～ 9:30 小山町総合体育館

★ バザー・露店商… 9:00～16:00

雨天中止

★ 子どもつなひき大会… 9:00～11:30

☔ 10:00～12:00 小山町総合体育館

★ 金時わんぱく相撲… 9:00～11:20

☔ 9:30～12:00 小山町総合体育館

★ 大砂嵐関
記念イベント…
11:20～12:30

☔ 12:00～13:00

小山町総合体育館



大砂嵐金崇郎関が
やってくる!

春まつり

第53回 富士山金太郎



平成29年

と き

5/3 祝 午前8時～

と ころ

金時公園

子ども相撲大会…13:00～15:30

☔ 13:00～15:00 小山町総合体育館

新入学児健康祈願… 9:00～ 9:30

予約制 ※新小学1年生の手形を色紙に押し、健康祈願

☔ 9:00～ 9:30 金時神社

妊産婦健康祈願…10:00～10:30

予約制 ※妊産婦の健康祈願
(抽選で金時健康ふとんプレゼント)

☔ 10:00～10:30 金時神社

表彰式・閉会式…15:30～

☔ 15:30～ 小山町総合体育館

福もちまき…

(つなひき・相撲大会表彰式終了後)

☔ 小山町総合体育館

予告

富士山 金太郎 夏まつり

7/29(土)

雨天時は ☔ のプログラムを開催します。

新入学児・妊産婦健康祈願に申込みされた方は、
開始15分前までに金時神社へ集合し、受付をして
ください。

お問合せ

●富士山金太郎まつり実行委員会 0550-76-6114
●小山町観光協会 0550-76-5000



小山町定例記者懇談会

平成 29 年 4 月 25 日

資料 4

足柄千年古道ハイキング

～新緑の足柄古道の歴史と富士山を楽しむ～

(小山町 商工観光課)

1 概要

古代から都と関東を結ぶ官道として栄えた足柄古道を歩くハイキングを神奈川県南足柄市と共同で開催します。

2 内容

両市町の参加者は、JR 足柄駅で合流し、足柄峠を經由し南足柄市の地藏堂まで行動を共にします。JR 足柄駅から足柄峠までは小山町のガイドが、足柄峠から南足柄市の地藏堂までは南足柄市のガイドが案内します。

お昼休憩には両市町の銘菓でのおもてなしもあります。

・日 時 平成 29 年 5 月 20 日(土)

・参加者 小山町：25 人 南足柄市：25 人

・集合場所 小山町役場 外来駐車場 9：00
※9：00～9：10に受付をします。

・コース (小山町側)	9：10	小山町役場出発(バス移動)
	9：15	JR 足柄駅到着
	9：30	JR 足柄駅出発
	11：30	足柄峠着
	11：30～12：30	足柄城跡にて昼食 ※両市町の銘菓のおもてなし有り
	12：30～12：45	足柄城跡のガイドによる説明
	12：45	足柄峠出発
	14：30	南足柄市地藏堂到着
	14：30～14：45	南足柄市地藏堂の説明
	14：45	南足柄市地藏堂出発
	15：30	小山町役場到着・解散

※表示時刻は目安です

【問い合わせ先】

商工観光課 商工観光班

電話 0550-76-6114



小山町定例記者懇談会

平成 29 年 4 月 25 日

資料 5

「第 20 回 ツアー・オブ・ジャパン 富士山ステージ」について

(小山町 商工観光課)

日 時：平成 29 年 5 月 26 日（金）10:45 スタート予定

走行区間：生涯学習センター前（町道原向中日向線）～ふじあざみライン

参加人数：約 100 人（プロの自転車選手）

概 要：昨年同様、町生涯学習センター（小山町阿多野 130）から、ふじあざみラインの本レーススタート位置までの全長約 13.2 km を走行する「セレモニーラン」を行い、大会を盛り上げる取り組みを計画している。セレモニーラン終了後は、しばらく休憩した後、例年通り、ふじあざみラインを駆け上がる本レースを行う。

スケジュール：10:30～ 町道原向中日向線交通規制開始
10:40～ 開会式
10:45～ セレモニーランスタート（時速 15～20 km で 45 分程度）
11:30～ セレモニーラン終了 30 分間休憩（ふじあざみライン）
12:00～ 本レーススタート（ふじあざみライン）
13:40～ 閉会式・表彰式（14:00 頃 終了）

ルート概要：町道原向中日向線（生涯学習センター）→（富士スピードウェイ東ゲート）→町道上野大御神線→県道須走小山線（柴怒田）→（須走本町交差点）→県道足柄停車場富士公園線→（富士学校入口）→町道富士学校線→（富士学校）→（須走 I C 交差点）→東富士五湖道路側道→ふじあざみライン

なお、現在、大会本部や警察、道路管理者等関係機関と走行の条件について調整している。

そ の 他：当日、このレースを支援してくれるボランティアを募集している。

問合せ先

商工観光課 商工観光班

担当 勝又

電話 0550-76-6114（直通）



結婚新生活支援補助金の実施について

(小山町 おやまで暮らそう課)

1 概要

結婚して小山町で新生活をスタートさせるきっかけとなる経済的支援を行い、結婚数の増加につなげることにより、地域における少子化対策の強化を図ることを目的として、新規に婚姻した世帯に対して、住居費及び引越費用の一部を補助するものです。

2 内容

(1) 対象世帯

- ・平成 29 年 4 月 1 日以降に婚姻届を提出し、受理された世帯
- ・夫婦の年間所得の合計が 340 万円未満の世帯
(奨学金の返済を行っている場合は所得から控除する)
- ・対象となる住居が小山町内にあり、当該居住地に住民登録されている世帯
- ・他の公的制度による家賃補助等を受けていない世帯

(2) 補助対象経費

住居費：結婚を機に新たに物件を購入、賃借する際に要した費用（物件の購入費、賃料、敷金、礼金(保証金等)、共益費、仲介手数料）

ただし、勤務先から住居手当及び小山町定住促進事業助成金が支給されている場合は、その金額を差し引いた額

引越費用：引越し業者又は運送業者への支払い

(3) 補助金額

住居費と引越費用の合計額を対象で、1 世帯あたり 24 万円を上限として補助

(4) 申請期間

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日

(5) 平成 28 年度実績

支給件数：2 件

【問い合わせ先】

おやまで暮らそう課 婚活支援班

電話 0550-76-6137

結婚する皆さんの新生活を応援します

小山町結婚新生活支援補助金



対象世帯（次のすべてに該当すること）

- ▶平成29年4月1日以降に婚姻届を提出し受理された世帯
- ▶夫婦の年間所得の合計が340万円未満である世帯
(貸与型奨学金の返済を行っている場合は、所得から奨学金返済額を控除した金額)
- ▶結婚を機に小山町内にある住居を購入、賃借等をし、対象になる住居の住所に住民登録されている世帯
- ▶他の公的制度による家賃補助等を受けていない世帯

対象となる経費

- ▶住居費
物件の購入または賃借する際に要した費用
(物件の購入費、賃料、敷金、礼金、共益費、仲介手数料)
※ただし、勤務先から住宅手当及び小山町定住促進事業助成金が支給されている場合は、その金額を差し引いた額とします
- ▶引越し費用
引越し業者又は運送業者への支払い

補助額

住居費と引越し費用の合計額が対象
1世帯あたり24万円を上限とします

申請期間

平成29年4月1日から
平成30年3月31日まで

まずはご連絡ください！

問い合わせ先

小山町役場 経済建設部 おやまで暮らしそう課
TEL : 0550-76-6137 Fax : 0550-76-2795
E-mail kuraso@fuji-oyama.jp





レッツ^{ゴー}5ファーム(畑づくり)の実施について

(小山町 健康増進課)

1 概要

町では、子供たちが「心こめ野菜を育てる」農業体験を通して、命の大切さや周囲の人たちへの感謝の心を育てることを目的として、「レッツ^{ゴー}5ファーム(畑づくり)」を実施します。

2 内容

小山町では、町内全園の5歳児を対象とした食育「レッツ5食育事業」を平成21年から実施しています。畑づくりの「レッツ5ファーム」から始まり、料理教室の事前学習としての「プレキッチン」、料理教室本番の「レッツ5キッチン」と、1年を通した食育です。レッツ5食育事業のスタートとなる畑づくりを、今年も5月に実施します。子供たちが自分たちの手でさつま芋と里芋の植え付けを、地元の畑の先生(農業委員)に教わりながら行います。

(1) 日 時・場 所

いきど保育園	5月12日(金)	9:00~
すがぬま保育園	5月16日(火)	9:30~
すばしり保育園	5月22日(月)	10:00~
駿河小山幼稚園	5月16日(火)	8:00~
足柄幼稚園	5月15日(月)	9:00~
須走幼稚園	5月22日(月)	9:00~
きたごうこども園	5月23日(火)	8:30~
菜の花こども園	5月19日(金)	10:00~

(2) 対 象 町内全幼稚園(3園)、保育園(3園)、こども園(2園)の5歳児

(3) 関係者 各園職員、農業委員会、農林課、健康増進課

【問い合わせ先】

健康増進課 健康づくり班

電話 0550-76-6668



環富士山火山防災連絡会平成 29 年度総会について

(小山町 防災課)

1 概要

環富士山火山防災連絡会では、平成 29 年度総会を開催し、平成 28 年度の事業報告、平成 29 年度役員改選及び平成 29 年度事業計画を協議します。

2 内容

環富士山火山防災連絡会は、山梨県・静岡県 of 富士山を取り巻く市町村により平成 17 年 4 月に設立され、災害時応援協定を締結し災害時の相互応援体制を構築しています。

連絡会の活動は、総会及び年 2 回の定期協議会を開催して、富士山の火山防災対策などの情報交換や研修会のほか、国、県などへの要望活動を実施しています。

平成 28 年度の要望活動として、平成 29 年 4 月 11 日に会長である小山町長が内閣府防災担当大臣に要望書を提出しました。

平成 28 年度の連絡会の事業が終了したことから、平成 29 年度総会を下記のとおり開催します。

記

1 時 期 平成 29 年 5 月 16 日（火） 午後 1 時 30 分～

2 場 所 山梨県富士吉田市民会館 小ホール（3 階）

3 内 容 ① 平成 28 年度事業報告

② 平成 29 年度役員改選

③ 平成 29 年度事業計画

④ 研修会

甲府气象台から富士山の観測体制や気象庁が発表する火山情報などについて講演予定

3 環富士山火山防災連絡会について

(1) 環富士山火山防災連絡会設立の経緯

平成 16 年 6 月、国の富士山ハザードマップ検討委員会が最終報告をまとめ、住民が安心して暮らしていくため、一日も早い火山防災対策を計画し、実行していくことが必要となりました。

火山災害では、広域避難に必要な施設の確保や避難道路の整備、噴火や地震予知の観測体制の強化、災害情報の共有化などの連携が重要であり、このような共

通の問題をもつ市町村が、定期的に情報交換を行い、富士山火山防災対策の課題を整理し、関係機関への働きかけを共同で実施していく必要があるため、富士山の火山災害リスクを共有する市町村の連携に賛同した山梨、静岡両県の関係市町村が、平成 16 年秋より連絡会設立のための準備を重ね、全国で初めて県境を越えた組織となる本連絡会を平成 17 年 4 月に設立しました。

(2) 参加機関

ア 山梨県側（8 市町村）

富士吉田市、都留市、富士河口湖町、西桂町、山中湖村、忍野村、鳴沢村、身延町

イ 静岡県側（8 市町）

富士宮市、沼津市、三島市、富士市、御殿場市、裾野市、長泉町、小山町

ウ オブザーバー機関

山梨県、静岡県、山梨県富士山科学研究所、富士砂防事務所、地方気象台、警察、消防など 18 機関

(3) 会長・副会長

ア 山梨県・静岡県 16 市町で会長・副会長は持ち回りで改選

イ 平成 28 年度 会 長：小山町長

副会長：富士吉田市長

ウ 平成 29 年度（改選予定） 会 長：富士吉田市長

副会長：沼津市長

(4) 環富士山火山防災連絡会の活動

ア 総会（年 1 回の開催）

時期：平成 28 年 5 月 23 日（月）【小山町総合文化会館菜の花ホール】

内容：会長・副会長の改選、平成 28 年度事業計画及び規約改正、研修会など

イ 定期協議会（年 2 回の開催）

第 1 回定期協議会

時期：平成 28 年 10 月 18 日（火）【富士吉田市市民会館】

内容：避難所及び備蓄品などの情報共有、研修会

第 2 回定期協議会

時期：平成 29 年 2 月 9 日（木）【小山町総合文化会館】

内容：要望書、平成 29 年度役員改選、平成 29 年度事業計画の協議

【問い合わせ先】

防災課

電話 0550-76-5715



平成 28 年度 なんでも相談実績

(小山町くらし安全課)

平成 28 年度総合相談実績件数

- ・相談件数 100 件
- ・相談者数 95 人

主な相談内容	件数	備考
行政関係	24	町への要望、各課への問い合わせ 官公庁への手続き等
近 隣	16	近隣関係、庭木・排水トラブル等
家 族	10	家族の介護、日常生活等
相 続	10	相続手続、相続トラブル等
公害（騒・臭）	8	騒音・悪臭トラブル等

行政手続に関する相談や、町に対する要望、疑問に関する相談が最も多い。

次いで近隣、家族、相続に関する相談となっているが、これらを包括するような総合的な相談も多く、社会情勢や家族形態の変化により、内容が複雑化、高度化している。

なんでも相談事業を周知し、複雑化、高度化する相談に対応するために、関係部署と連携を密にするとともに、ワンストップサービスの機能を高めていく。

【問い合わせ先】

くらし安全課 くらし安全班

電話 0550-76-6130



平成 28 年度 消費生活相談実績

(小山町くらし安全課)

平成 28 年度消費生活センター相談件数

- ・相談件数 109 件
- ・相談者数 109 人

販売購入形態	件数	主な相談内容
店舗販売	14	携帯電話契約トラブル、日用品購入トラブル
訪問販売	14	消火器、食料品、点検商法
通信販売	24	アダルトサイト（出会い系）不当請求・サクラサイト詐欺、
電話勧誘販売	31	社債・未公開株の投資詐欺 プロバイダ変更契約
ネガティブ オプション	1	海外製品
その他 無店舗販売	2	データ通信契約、着物類
不明・無関係	19	架空・不当請求、不審電話（還付金など）
訪問購入	4	貴金属、着物買取り

相談件数は少数だが、行政職員をかたった不審な電話・メール等に関する相談や情報提供があった。例年通り、メールによるアダルトサイトからの不当請求、電話勧誘による社債・未公開株の劇場型勧誘詐欺、通信販売によるネットショッピングトラブル相談が目立つ。

あらゆる相談に対し、相談者が適切な処置・対処出来るよう、助言・斡旋を行っている。

【問い合わせ先】くらし安全課内消費生活センター

電話 0550-76-6117

小山町内イベント等一覧(5月)

開催日	開始時刻	終了時刻	行 事 名	場 所	概 要	担当課	連絡先	資料NO
5月								
3日	8:00	16:00	富士山金太郎春まつり	金時公園		商工観光課	76-6114	資料NO. 3
3日			2017SUPER GT Round2(予選)	富士スピードウェイ		商工観光課	76-6114	
4日			2017SUPER GT Round2(決勝)	富士スピードウェイ		商工観光課	76-6114	
5日	10:00		富士浅間神社例大祭	富士浅間神社		須走支所	75-2211	
5日			御殿場・小山高校野球定期大会	小山球場				
10日	9:00		農業委員会	役場大会議室	5月度農業委員会	農林課	76-6121	
10日	10:00		自衛隊富士学校協力会総会	総合文化会館		総務課	76-6131	
13日	17:00		小山町体育協会総会	総合文化会館		体育協会	76-7511	
13日	13:30	15:30	母の日のプレゼント作り	総合文化会館美術工芸室	フラワーアレンジメント作り	生涯学習課	76-5722	
13日			2017インタープロトシリーズ第1戦	富士スピードウェイ		商工観光課	76-6114	
14日			2017インタープロトシリーズ第2戦	富士スピードウェイ		商工観光課	76-6114	
16日			大砂嵐応援ツアー	両国国技館		商工観光課	76-6114	
16日	13:30		環富士山火山防災連絡協議会総会	富士吉田市	平成28年度事業報告・決算、平成29年度事業計画・予算	防災課	76-5715	資料NO. 8
17日	13:30		自主防災会連合会総会	役場大会議室		防災課	76-5715	
17日	15:00		小山町商工会通常総会	総合文化会館		商工会	76-1100	
19日	13:00	14:30	食育映画上映会	健康福祉会館 多目的ホール	食育ドキュメンタリー映画「いただきます」の上映	健康増進課	76-6668	
19日	15:00		小山町内陸のフロンティアを拓く取組推進協議会	総合文化会館菜の花ホール		未来拠点課	76-6129	
20日	9:00		足柄千年古道ハイキング	足柄駅～足柄峠～地蔵堂(南足柄市)	南足柄市との共催事業	商工観光課	76-6114	資料NO. 4
20日	10:30		こども読書の日イベント	町立図書館	おはなしの会、ワークショップ、リサイクル市	図書館	76-4270	
25日	15:30	16:30	定例記者懇談会	役場本庁301会議室		町長戦略課	76-6135	
26日	12:00		第20回ツアー・オブ・ジャパン 富士山ステージ	ふじあざみライン	セレモニーランスタート(総合文化会館 10:45)	商工観光課	76-6141	資料NO. 5
30日	14:00		観光協会総会	総合文化会館		観光協会	76-5000	

小山町町制105周年記念事業
「NHKのど自慢」の実施について

NHK静岡放送局と小山町では小山町町制105周年を記念して「NHKのど自慢」を実施します。出場および観覧をご希望の方は、次の要領でお申し込みください。

1. 日 時 平成29年7月2日(日) 開場/午前11時 開演/午前11時45分 終演予定/午後1時30分
＜予選会＞7月1日(土) 受付/午前11時 開始/午前11時45分 終了予定/午後6時
2. 会 場 小山町総合文化会館 金太郎ホール
【住所】 静岡県駿東郡小山町阿多野130
【交通】 JR「御殿場駅」から富士急行バス「佐野川」下車 徒歩15分、
東名高速御殿場ICから車で約18分
3. 主 催 NHK静岡放送局、小山町

4. 出 演 予選を通過した20組のみなさん
＜ゲスト＞長山 洋子、森 進一(50音順)
＜司 会＞小田切 千アナウンサー

5. 出場申込 「郵便往復はがき(私製を除く)」に以下を記入してお申し込みください。
【往信用裏面】(1)郵便番号、(2)住所、(3)名前(ふりがな)、(4)年齢、(5)性別、(6)電話番号、
(7)職業(具体的に ※中学生・高校生・大学生は部活動等を記入)、
(8)歌う曲目とその歌手名、(9)その曲を選んだ理由(詳しく)
※グループの場合は、(3)～(5)および(7)について全員分と、メンバーの関係(兄弟、同僚、同級生など)も記入
【返信用表面】(1)郵便番号、(2)住所、(3)名前
【返信用裏面】何も記入しないでください(選出結果を印刷します)
※応募多数の場合は、250組を選出の上、前日の予選会にご出場いただきます。
※中学生以上の方で、原則としてアマチュアの方が対象です。(中学生は予選会・本選どちらも
保護者の同伴が必要です。必ずはがきに保護者の名前と電話番号も記入してください。)
※応募は1人(グループ)1通に限ります。
※応募後の曲目・出場者の変更はできません。
※予選会の演奏も生バンドですが、キーの指定はできません。

(あて先)〒420-8721(住所不要)NHK静岡放送局 「NHKのど自慢」出場係
(しめ切り)5月22日(月) 必着

【ご注意】抽せん結果は6月中旬に発送予定です。6月1日から郵便料金が変わるため、返信面料金は
62円になります。料金不足にご注意ください。

6. 観覧申込 入場無料。「郵便往復はがき(私製を除く)」に以下を記入してお申し込みください。
【往信裏面】(1)郵便番号 (2)住所 (3)名前 (4)電話番号
【返信表面】(1)郵便番号 (2)住所 (3)名前
【返信裏面】何も記入しないでください(抽選結果を印刷します)
※応募多数の場合は、抽選のうえ入場整理券(1枚で2人入場可)をお送りします。
※予選会に入場自由です。(ただし、満席の場合は入場制限をする場合があります。)
※当選はお1人様1通とさせていただきます。
※満1歳以上のお子様から整理券が必要です。
※記入に不備があった場合は無効になりますのでご注意ください。
※インターネットオークション等での売買を目的としたお申し込みは固くお断りいたします。
なお、売買を目的としたお申し込みであると判明した場合には、抽選対象外とさせていただきます。
※会場では主催者の指示をお守りください。

(あて先)〒420-8721(住所不要)NHK静岡放送局 「NHKのど自慢」観覧係
(しめ切り)5月30日(火) 必着

【ご注意】抽せん結果は6月中旬に発送予定です。6月1日から郵便料金が変わるため、返信面料金は
62円になります。料金不足にご注意ください。

7. 放送予定 平成29年7月2日(日) 午後0時15分～午後1時 (総合テレビ・ラジオ第1・国際放送)
8. 問 合 せ NHK静岡放送局 電話:054-274-1000(平日/午前9時30分～午後7時)
小山町総合文化会館 電話:0550-76-5700(月曜休館/午前9時～午後9時)

※ご応募の際にいただいた情報は、抽選・選出結果のご連絡のほか、NHKでは受信料のお願いに使用させていただくことがあります。